

広報

7の

9

2007
No. 644

ぽつ、とゆらめく。



■ 幻想的に浮かび上がる光

8月13日から15日の3日間、お盆の迎え火として、根雨のまちなかに手づくりの灯ろう150個が設置されました（主催：㈱まちづくり日野、町商工会）。通りに並ぶ幻想的な光は、住民や帰省客らの目を楽しませました。

また、8月14日にはまちづくり日野主催のお盆夜市も開かれ、灯ろうのきらめく中、屋台やバザーなどでにぎわいました。

日野和牛復活に懸ける

第9回全国和牛能力共進会へ
町から3頭が出品

「和牛のオリンピック」とも呼ばれる

全国和牛能力共進会（全共）。

5年に1度開かれるこの大会が

この10月、鳥取県で開かれ、

全国から優秀な和牛が一堂に会して

その優劣を競います。

日野町からは、3頭の牛が

県代表として出品されます。

日野和牛の歴史と

共進会に懸ける生産者の声を

紹介します。

まちの和牛の歴史

日野郡産の牛は、小型でも
労役に耐えて飼いやすいと、
明治以前から主に農業の力仕
事のために飼われていました。
また、明治10年代の終わりご
ろからは、在来和牛の長所を
活かした改良も始まりました。
昭和30年代には農業の機械
化が進み、農耕牛としての役
割が薄れてきたため、主に肉
用牛として飼われるようにな
りました。

昭和41年、岡山県で開かれ
た第1回全共では、鳥取県代
表の「気高号」が主席を獲得。
気高号は全国に後継牛を残し、
和牛改良の元祖と呼ばれる名
牛になりました。

しかし、その後、日本の農
業の構造も大きく変化、農村
の過疎化や農家の高齢化など
により、和牛を飼育する農家
も減っていきました。

町内で飼われていた和牛の
数は、大正末期の約2000
頭をピークに、昭和40年は約
900頭、昭和62年には約4
00頭（飼育農家188戸）
と減少しており、現在では約
100頭が30戸の農家で飼育
されています。



西村さんといちかつふく号

牛は生きがい 日本一を目指したい

西村 槐さん
(下榎)

西村槐さんは、和牛飼育60年の大ベテランですが、全共に出品するのは初めてとか。「出品が決まったときは、まるで甲子園出場が決まった高校球児のような、ヤッターという気持ちで、ガッツが湧いてきましたね」と喜びを表現してくれました。

そんな西村さんも、体調を崩し2年間牛飼いを中断したことがあるそう。牛は宝と話す西村さんは夢を捨てきれず、周りの反対を押し切って再び飼いを始めたところ自身も元気を取り戻したそうです。西村さんにとって、牛はまさに生きがいだと言えるでしょう。「全共に出場するからには日本一を目指します。そうすることで鳥取県の名前も上がるし、日野和牛を全国に広めることができます」と全共への抱負を語りました。

全共ひとくちメモ ~種牛の部第2区~
生後14か月~17か月未満の若い雌牛を出品する部門です。鳥取県代表として西村さんの「いちかつふく号」がただ1頭出品され、全国から集まった優秀な和牛たちと優劣を競います。



「3頭の出品牛は神からの贈り物かも」と話す松本さん

町内で新たな和牛改良が行われるようになったのは、平成5年にまでさかのぼります。牛肉輸入自由化が実施され、国産牛の生産者が打撃を受けていたその年の12月、日野町の子牛価格が全国平均最下位となったことがきっかけでした。

松本さんは、「いいタネの確保」と雌牛の改良に取り組んだ結果、今年7月のセリでは、日野和牛の子牛価格が1頭平均56万5000円となり、全国および県の平均価格(約50万円)を大きく上回る結果となりました。

松本さんは、「全共に出品する県代表の雌牛17頭のうち3頭は日野町からの出品。その割合からも、町全体の牛のレベルが上がってきてい

牛歩のように慎重に 着実に改良に取り組んで

町和牛部会会長の松本勝美さん(本郷)は、家畜人一授精の仕事をしてながら自宅の牛舎で30数頭の牛を飼育している生産農家。また、県和牛改良組合協議会の会長を務めるなど、県内の和牛改良の中心的存在でもあります。

ることがわかります。1頭の牛の改良には10年かかる。それこそ牛歩のように着実に慎重に、確実な改良が大切。全共へ3頭も出品できたのはその結果。決して偶然ではありません」と自信の表情。そんな松本さんが目指すのは「時代の流れに合った牛」をつくること。「県外の肥育農家からも『鳥取の牛が変わり始めた。これからは楽しみ』という声もあります。

鳥取の和牛は全国からも注目を浴びており、この全共は流れを変えるチャンス」と、共進会への意気込みも十分。そんな中でもやはり課題は後継者問題。これからの課題について松本さんは、「農業に限らず後継者不足は共通の課題。和牛改良のリーダーを育てなければ」と話します。

最後に、「この全共を町内で和牛を見直すきっかけにしてほしい。農家には1、2頭でも牛を飼ってほしいと思います。価格が回復した今、経済面でも利益はあるはず。5年、10年先の未来を考えたとき、みんなが未来をどう守っていくか。農業でも食べていけるまちななればと思います」と話しました。その言葉からは、長年の経験からの自信とまちへの愛情が感じられました。

目標は上位入賞 最高の状態で臨みたい

遠藤真由美さん
(別所)

遠藤真由美さん所有の「しばひめひら号」「しばひめかね号」の2頭は、種牛の部第4区に出品されます。
遠藤さん夫妻は25年前から「しば系」にこだわって和牛飼育を続けています。
夫の弘之さんは「しば系は性質温順なのが特長。勤めに出ていても手間もかからず飼いやすい」と話します。
また、「全共に出品するのは初めてですが、チャンスに恵まれてとてもうれしいです。今回の出品は、私たちだけの

力ではなく、町和牛部会の長年の積み上げと多くの支援があつて実現したこと。できれば上位入賞し、責任の一端を果たしたい」と意気込みを語ります。
様々な面で牛に助けてもらつてきたという弘之さん。「共進会は勝負の世界ですが、当日、牛の最高のコンディションが出せれば悔いはありません」とも。牛は家族のような存在と語るその表情には牛への愛情があふれていました。



(左から) 遠藤弘之さん、しばひめかね号、真由美さん、しばひめひら号

全共ひとくちメモ ~ 種牛の部第4区 ~

生後14か月以上の雌牛を1セット4頭で出品する部門です。今回は県代表として、遠藤さん所有の2頭と木嶋泰洋さん(伯耆町)所有の2頭が1セットで出品され、他県の代表とその優劣を競います。

第9回全国和牛能力共進会 (和牛博覧会inとっとり)のご案内

和牛博覧会

第9回全国和牛能力共進会
in とっとり



も〜すべ開催
食べて・学んで・楽しんで
家族みんなで出かけよう！

開催期間

10月11日(木) ~ 14日(日)

開催場所

【メイン会場】崎津住宅団地(米子市)
【サブ会場】竹内工業団地(境港市)
【肉牛の部会場】審査会場：(株)鳥取県食肉センター(大山町)

イベント

【メイン会場】▼競いのゾーン：種牛の部の審査会場。全国から選抜された300頭余りの牛が集結、日本一の座を競います。▼学びのゾーン：因伯牛と鳥取県の歴史などを紹介するテーマ館。ブランド牛の試食コーナーも。▼食のみやこゾーン：鳥取和牛炭火焼肉「がいなバーベキュー」、県農林水産祭「大地と海のフェスタ」も開催。▼集いのゾーン：鳥取の観光めぐり「ふるさと鳥取館」や県民参加のステージも。▼憩いのゾーン：動物たちとの楽しいふれあいゾーン。

【サブ会場】▼隠岐の牛突き(11日・14日)：伝統の牛突きを実演。

▼そのほか、「妖怪そっくりコンテスト」「ゆるキャラショー」「山陰郷土芸能ショー」などの催しが盛りだくさん。

【肉牛の部会場】▼セリ会場(大山町名和農業者トレーニングセンター：14日)：全国の買参人が集い、枝肉のセリを行います。迫力満点のセリの様子をご覧ください。地元大山町による地元食材を使ったおもてなし、特産品販売もあります。

問合せ先

第9回全国和牛能力共進会鳥取県実行委員会事務局(西部総合事務所内)
(電話 0859 - 21 - 2662) ホームページアドレス (<http://www.torizenkyo.com/>)

黒坂納涼まつり



全体踊りでは、日野町音頭ほか3曲を

黒坂のお盆を彩る黒坂納涼まつりが、
8月15日、黒坂小学校校庭で
開かれました。
幕開きは、特別出演の
日野高校郷土芸能部による荒神神楽。
また、日野中学校吹奏楽部の演奏や
黒坂小学校児童の傘踊りなどの余興、
各種ゲーム大会や
よさこい踊りチームなどが
祭りを盛り上げました。
花火大会では
300発の花火がきらめき、
全体踊りでは
踊りの輪がやぐらを囲み、
祭りは最高潮に。
会場は地域住民をはじめ
帰省客らでにぎわいました。



笑顔で観客にアピール



子どもたちによるかわいい傘踊り



屋台も盛況



やぐらでは「松江ばんぱ」を演奏



一糸乱れぬよさこい踊り



帰省客も夏の思い出に



誰が一番？ラムネ早飲み



大迫力の荒神神楽

平成19年度

町成人式

責任ある大人への第一歩、
成人式が開かれました。
まちの豊かな自然と
温かい人々に囲まれて育った
新成人たちは、
これから新たな気持ちで
社会へと羽ばたいていきます。



今年は54人が新成人に

8月15日、平成19年度の町成人式が町文化センターで開かれました。

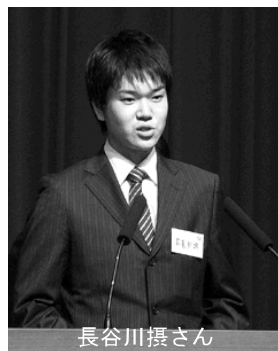
今年大人の仲間入りをしたのは、昭和62年4月2日から昭和63年4月1日の間に生まれた54人。成人式にはそのうちの42人が出席しました。

式では、景山町長が「成人とは精神的にも成熟した人を指す。豊かな自然と人情を活かし、暮らしやすいまちをつくるため皆さんの積極的な参加をお願いしたい」と式辞を述べました。

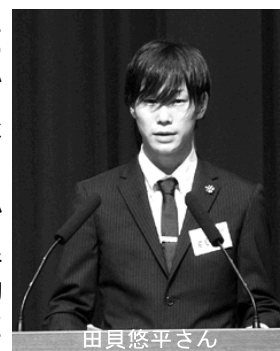
また、新成人を代表して長谷川摂さん（舟場）、田貝悠平

さん（津地）が新成人の誓いのあいさつを行いました。

長谷川さんは、「今は皆それぞれの道を歩んでいるが、地元に戻ったとき温かく迎えてくれる友達は自分のふるさと。このまちを自分の誇りにして、まちに貢献できるように頑張りたい」と話しました。田貝さんは、「このまちの自然は誇り。この自然を守る



長谷川摂さん



田貝悠平さん

ため小さなことから行動していき、また人の温かさを引き継いでいきたい」と話し、誓いを新たにしていきました。

式典の後には、根雨出身の指画家、浜田珠鳳さんによる記念講演が行われました。また、山村開発センターで懇親会が行われ、懐かしい学校給食を囲んで再会を喜び合いながら、お互いの近況を報告するなど旧交を温めました。

指や爪だけで描く指画に出会い、創作活動を続けるかわら中国天津美术学院客員教授として活躍しています。

講演の中で浜田さんは、戦後韓国から引き上げてきた時の苦労や、日野の自然に親しんでいたことが現在絵を描くのに役立っていることなどを話しました。

逆境を乗り越え人生のステップに

浜田珠鳳さん記念講演「生きる証」

また、「中国では、一人の人の出会うと一本の新しい道ができるといいます。人との出会いを大切に、苦労や逆境を乗り越えて新しいチャンスをつかんでほしい。そうすることで新しい道が開けます」と話し、新成人たちは郷土の先輩の言葉を心に刻みました。



人生はチャンスの連続と話す浜田さん

浜田さんは水墨画を学ぶため昭和62年に単身中国へ留学、平成11年に筆を使わず



昔を思い出す学校給食



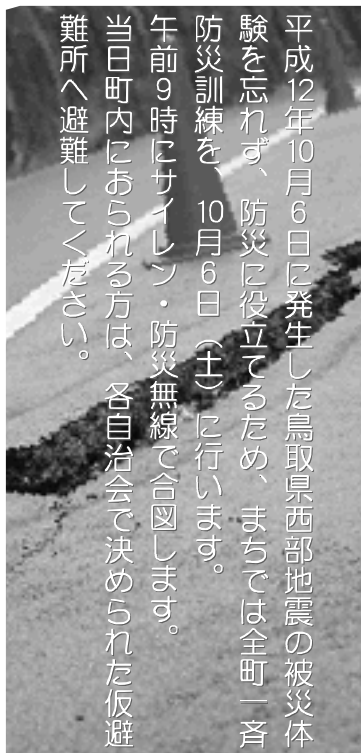
町民憲章を唱和、大人としての責任を自覚



町内のコーラスグループと町民歌「きらり この町」を合唱

全町一斉防災訓練

10月6日(土) 午前9時



平成12年10月6日に発生した鳥取県西部地震の被災体験を忘れず、防災に役立てるため、まちでは全町一斉防災訓練を10月6日(土)に行います。午前9時にサイレン・防災無線で合図します。当日町内におられる方は、各自治会で決められた仮避難所へ避難してください。

訓練の目的

▼訓練を重ねることにより仮避難場所の周知徹底を図る

▼自主防災組織による安否確認及び災害対策本部への情報伝達訓練を行う

▼防災器具の点検、救急・消防訓練などを行い、地域防災力の向上を図る

今年度の課題

各自治会の防災責任者は、災害弱者を含めた住民の把握に努めましょう

握に努めましょう

訓練の想定

10月6日午前9時に県西部を震源とする地震が発生し、日野町では震度6強を記録

訓練の内容

▼午前9時にサイレンを鳴らします。防災無線で放送

しますので内容を確認ください

▼家にいる人の安否を確認、火の始末をします

▼戸締りをして、懐中電灯など最小限の物品を持って避難します

▼安全な避難経路を選び仮避難所へ避難します

▼防災責任者に家族の避難状況を報告します。報告後は責任者の指示に従ってください

(注) 盗難防止のため戸締りをしてから避難してください

訓練中止の場合

訓練当日に突発的な大災害などが発生した場合は訓練を中止します。中止する場合は、防災無線でお知らせします。

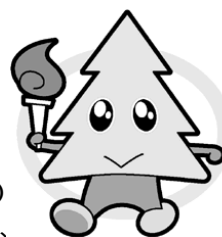
問合せ

日野町役場総務企画課
防災係(電話72 0331)

晴れの舞台の健闘を祈る

第62回国民体育大会 ソフトテニスの部にまちから5人が出場

9月29日～10月9日、秋田県で開かれる第62回国民体育大会(秋田わか杉国体)ソフトテニスの部(9月30日～10月3日、大館市高館テニスコート)に、町内から、鳥取県大会を勝ち抜いた小林秀訓さん(上菅)、中国大会を勝ち抜いた長谷部友紀さん(黒坂)、生田結衣さん(黒坂)、梅林尚美さん(黒坂)、谷口弘美さん(黒坂)が、鳥取県チームとして出場します。どうぞご声援ください。



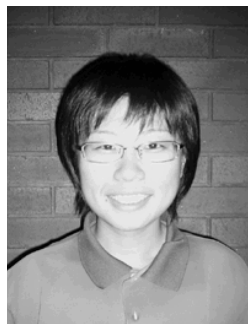
わか杉国体の大会マスコット「スギッチ」



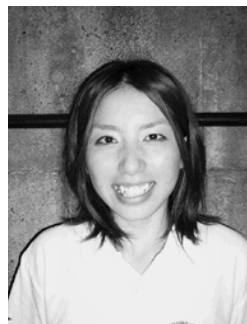
小林秀訓さん



長谷部友紀さん



生田結衣さん



梅林尚美さん



谷口弘美さん

生涯学習フェスティバルとっとり まなびでつなぐ みんなのきずな 2007 in 西部

と き 10月6日(土)～8日(月・祝)
ところ 米子市文化ホール(入場無料)

鳥取県の生涯学習の祭典「生涯学習フェスティバルとっとり」を、今年度は米子市を会場に開きます。

講演やシンポジウム、各種団体のステージ発表や作品展示のほか、体験コーナーなども行います。

問合せ 生涯学習フェスティバルとっとり実行委員会事務局(西部総合事務所 西部教育局内)
【電話 0859 - 31 - 9774】

内 容

▼「未来をひらく鳥取学」公開講座＝ロサンゼルス五輪バレーボールメダリスト三屋裕子さんの講演(6日午後1時～)

▼ステージ発表＝屋内ホール・野外特設ステージで、公民館サークル、地域の文化団体、児童・生徒らによる日ごろの生涯学習活動や、伝統芸能などのステージ発表。(合唱団おしどりたちが出演します。8日午後2時15分～の予定)

▼シンポジウム＝生涯学習を通じた地域づくりに取り組んでいる実践者によるシンポジウム(7日)

▼展示・体験・特産品コーナー＝公民館サークル、文化活動団体、NPOなどによる展示(町陶芸グループによる展示もあります。6日～8日)や体験コーナー(松本節哉さんによる竹のおもちゃづくりがあります。7日午前10時～午後5時) 特産品販売コーナーを実施



キレイになった板井原川

お便り
先日、町内のある方からお便りをいただきました。帰省したお孫さんとのほほえましいお話を紹介します。

自宅近くの板井原川で久しぶりに魚が泳いでいるのを見つけてきました。お盆に帰ってきた孫たちが川で遊びたいというので、暑さも忘れて川辺の草を刈り、私と息子、3人の孫の5人で川へ出かけました。

皆夢中で魚を追いかけていましたが、私は昔とつた杵柄、子どもたちに捕り方を教えてやると大きな声で「捕れた!」の声。イシブ、スナモリ、ゴツパと30匹も捕ることができ、楽しく涼しい2時間を過ごしました。帰って子どもたちは感想文を書いていましたが、学校の宿題なのか全て英語で書く子もあり、ついていけない私です。捕まえた魚は川へ放してやりました。「またね」と。

私が子どもころは川にも魚がたくさんいて、よく捕まえて遊んでいましたが、だんだん数が減って残念に思っていたものです。近頃は生活環境が整備され川もキレイになり、また魚が増えてきたようですね。うれしく思います。いつまでも美しい川であってほしいと願っています。

10月のがん検診の日程は次のとおりです。受診される方は、配布した受診票を持参のうえ受診してください。

問合せ 役場健康福祉課 担当 伊田(電話 72 - 0334)

子宮がん・乳甲状腺がん検診

実施日	会 場	受付時間	対象地区
10月12日(金)	山村開発センター	午後1時～午後2時	根雨1区、後谷、金持、板井原、野田、上本郷、下本郷、榎市、小原、別所

10月のがん検診
日程

健康福祉課からお知らせ

まちの話題

西部地震の経験を活かして

中越沖地震初期支援活動報告会



被災地には計5人のスタッフが派遣

7月16日に発生した中越沖地震の支援のため日野ボランティアネットワーク（小谷博徳代表）から派遣されたスタッフによる報告会が、8月9日、山村開発センターで開かれ、町民ら約30人が参加しました。

報告会では、山下弘彦さん（根雨）ら3人のスタッフが、被災状況や支援活動の内容などについて報告しました。山下さんは、「今回の地震では家屋被害が大きく、危険と判定された家屋が多かった。また、市町村合併で自治体の範囲が広がったため、同じ自治体でも都市部と漁山村部が混在しており、情報がうまく伝達されていない部分があった」と話し、参加者らは、西部地震の被災体験を思い出しながら耳を傾けていました。

きれいな環境を守ろう

明地峠ごみ拾い作業



拾ったごみはきちんと分別し処理

8月の「道路を守る月間」に合わせて、恒例の明地峠のごみ拾いが、8月10日に行われました。

作業には、町民ボランティアや役場職員17人が参加し、展望駐車場や国道180号周辺のごみ拾いを行いました。展望駐車場周辺には、茂みの中などに空き缶や弁当がら、不燃ごみが散乱しており、参加者らは一つ一つ拾い上げてごみ袋に入れていました。道路や公園は皆の財産です。美しい環境のため、みだりにごみを捨てないようにしましょう。

夏休みの宿題できた

セルプひの夏休み一 作教室

子どもたちに夏休みの工作を通してものづくりの楽しさを味わってもらおうと、8月11日、夏休み工作教室が、障害者授産施設セルプひの（根雨）で開かれました。

参加した17人の子どもは、木製の箱やキーホルダーを作りました。また、セルプひの利用者も工作を手伝い、協力し合いながら作品を作りました。

会場ではバザーもあり、地域住民やお盆の帰省客らでにぎわいました。

オシドリが運んだ交流

西田小学校児童が来町

オシドリグループ（池岡幸三代表）と交流している東京都杉並区西田小学校の児童9人が、8月17日から20日にかけて来町し、さまざまな体験活動を行いました。

児童らは、毎年オシドリのえさを送るなどグループと交流しており、来町するのは昨年に続いて2回目のこと。子どもたちはカヌー教室に参加して日野町の子どもたちと交流したほか、歴史民俗資料館、金持神社など町内の施設などを見学しました。

子どもたちは、「カヌー体験が楽しかった。この5日間でいろいろな体験ができ、日野町が大好きになりました」と感想を話していました。



ドリルを使った難しい作業も助け合って



根雨駅に迎えにきた関係者らと記念撮影



21人の少ない部員ながら、粒のそろった演奏が自慢

素晴らしい音の競演

日野中学校吹奏楽部サマ コンサート

日野中学校吹奏楽部が日ごろの練習の成果を披露するサマーコンサートが、8月19日、町文化センターで開かれました。

日野中学校吹奏楽部は、8月の全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会で金賞を受賞、中国大会に出場するなど、めざましい活躍をしているクラブです。

今回のコンサートでは、金賞受賞曲をはじめ映画の主題歌などを迫力たっぷりに聴かせました。

また、ゲストに出雲高校OBアンサンブルを迎え、合同演奏するなど盛りだくさんの内容で、客席からは大きな拍手が送られました。

年に一度の大規模演習

西部広域消防圏連合演習



狭い路地でもホースを展開。住宅地の火災に備える。

県西部の7町村の消防団と広域消防が応援協定に基づいた消防訓練をする西部広域消防圏連合演習が、8月26日、黒坂で行われました。

訓練は、水利の少ない黒坂地内での大規模な住宅火災を想定したもので、黒坂1区集会所から出火した火災が、2か所に飛び火したという設定で訓練が行われました。

訓練では、各町村の消防団と広域消防が連携して迅速な消火活動を展開しました。また、地元住民による冷たい麦茶のサービスもあり、訓練後の団員の疲れを癒しました。

演じる楽しさ味わう

子どもお芝居教室

まちの子どもたちに演劇の楽しさや豊かな心を学んでもらおうと、8月28日、子どもお芝居教室が町文化センターで開かれました。

参加したのは、町内の小学生10人。また、町内で活動する劇団、お芝居くらぶ・さん・ふいーなどのメンバー4人が講師として参加しました。

子どもたちは、ストレッチや発声練習などの基礎練習を教わったり、ミニゲームを通してコミュニケーションの大切さなどを学びました。

最後はエチュード（即興劇）に挑戦。自分でせりふを考えながら演じるという初めての体験にとまどいながらも、楽しみながら演じていました。



即興で「シンデレラ」を上演。段取りも自分で考えて

恩田さんカヌーで第2位

プリヨンカップ全国大会



週1～2回は練習しているという恩田さん。今後の活躍が期待されます

8月26日、江の川カヌー公園さくぎ（広島県作木村）で開かれた、中国地方を中心にしたカヌー愛好者のカヌー大会、プリヨンカップ全国大会（同実行委員会主催）で、小学生男子の部に出場した黒坂小学校5年の恩田晃匠さん（下菅）が見事第2位に輝きました。

恩田さんは昨年からカヌーの練習を始め、今回が初めての大会出場。恩田さんは、「途中難しい所もあったけど、日野川より緩やかなコースでやりやすかった。次の大会では1位になりたいです」と感想とこれからの抱負を話しました。

防衛大学校学生等募集

募集種目 防衛大学校学生
 (一般)【第一次試験】11月
 10・11日、第二次試験12月
 11・14日 防衛医科大学校
 学生【第一次試験】11月3・
 4日、第二次試験12月5・
 7日 看護学生【第一次試
 験】10月14日、第二次試験1
 1月17・18日
 受付期間 9月28日(金)まで
 問合せ 自衛隊鳥取地方協力
 本部 米子地域事務所(電話
 0859 33 2440)

無料調停相談会

米子地区調停協会では、民
 事・家事調停委員による無料
 調停相談を次のとおり開きま
 す。お金や土地・建物のトラ
 ブル、夫婦間の問題や遺産相
 続などの家庭内でのめんど
 について、調停委員が相談に
 応じます。お気軽にご相談く
 ださい。
 日時 9月26日(水)午前10
 時〜午後3時

場所 米子市公会堂(米子市
 角盤町2-61)および境公民
 館(境港市湊町1)
 問合せ 鳥取地方裁判所米子
 支部庶務課(電話0859
 22 2205)

司法書士無料法律相談

県司法書士会では、無料法
 律相談を次のとおり開きます。
 多重債務でお困りの方や、相
 続、登記などの相談など、幅
 広く受け付けます。お気軽に
 ご相談ください。

日時 10月1日(月)午前10
 時〜午後4時
 場所 米子市文化ホール
 相談内容 簡易裁判所訴訟
 代理、裁判外の和解、クレ
 ジット・サラ金などによる多
 重債務、相続・売買などの不
 動産登記、会社設立・役員変
 更などの商業登記、高齢者の
 財産管理、成年後見など司法
 書士の業務に関する相談。
 問合せ 県司法書士会(電話
 0857 24 7013)

生きいき“ひの”ふれあいまつり

と き 10月20日(土)・21日(日)

ところ 町役場前広場、山村開発センター、町文化センター

まちの特産品などが当たるお楽しみ抽選会(21日)
 もあります。ぜひお出かけください。

問合せ 役場総務企画課内 実行委員会事務局(電話 72-0331)

内 容

▼展示部門=陶芸、写真、書道、絵
 画など、各文化団体の作品を展示
 ▼即売部門=まちの特産品の即売
 やバザーなど▼芸能部門=吹奏楽、
 コーラス、大正琴、演劇などの舞
 台発表

■教育委員会からのお知らせ 第9回町教育委員会開催

9月5日、第9回の町教育委員会を開き、議案について審
 議・承認し、また協議事項についても意見を交わしました。

▼議案 平成19年度日野町一
 般会計予算補正予算書の提出
 について9月に開かれる定
 例議会に提出する今年度予算
 の補正について審議しました。
 主なものとして、町公民館
 の空調設備や給食センターの
 食器洗浄機の修理費等を計上
 しました。

▼協議 町民生委員推薦会
 委員に緒形尚子氏と鳥居敏子
 氏を、町表彰審議会委員に山
 本武史氏を教育委員の中から
 推薦することに決めました。

町子ども育成会議からの提案

7月25日、第4回会議を開き、中学校
 教育をテーマに協議されました。

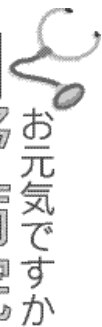
日野中学校の現況について説明を受け、
 昔と今を比較し、現代の特長や課題につ
 いて話し合われました。

学力低下、家庭学習の不足が叫ばれる
 折、時代にあった指導力の必要性などの
 意見が出され、このような激動する社会
 の変化における中学校教育が担う役割は
 重要との意見が多くありました。

今、満ち足りた中で暮らす生徒を問題
 視する声もある中、学校・家庭・地域の連
 携が必要との提言をいただきました。

家庭で手伝いをさせたり、地域の催し
 物に積極的に参加させることにより、子
 どもに役割を与えましょう。

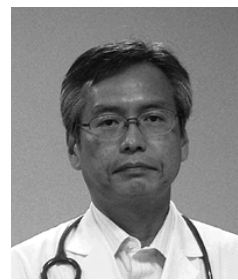
子どもと会話をしたり、あいさつを交わ
 すことで自尊心を育て、経験を積み重ね
 て社会生活を立派に過ごせる大人に、地
 域みんなの手で育てていきましょう。



日野病院です

病院長のひとりごと

―看護師不足について―



日野病院長 檀田 豊

今回は、日野病院における看護師不足の現状を2回に分けてお話しします。

1. 鳥取県内の病院との比較
ホームページやその他の公表されている資料で、一般病床数が全病床数の90%以上である鳥取県内の病院の看護師数(准看護師を含む)を調べ、その結果を図1に示しました。看護配置が10:1の病院での比較では、日野病院の1000床あたりの看護師数は1つの病院(No.8)とは同じ程度でしたが、その他の病院と比較すると明らかに少ない傾向でした。

2. 日野病院組合の看護師数の推移
図2に最近の看護師数の推移を示しました。総数は昨年4月が73人とピークで、その後次第に減少し今年7月で66

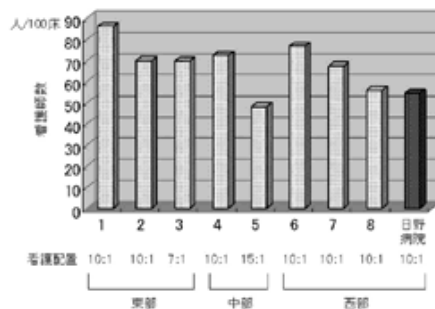


図1. 鳥取県内の病院(一般病床が全病床の90%以上を占める)における100床あたりの看護師数

人となっています。

部署別に見ますと、日野病院組合が指定管理者となったため、昨年7月(実際には6月)から新たに江府町介護老人保健施設あやめにも8人を配置するようになりました。その結果、昨年4月には67人であった日野病院の看護師数(在宅介護支援事業所を除く)は今年7月には54人になっています。

図3は看護師の新規採用者数と退職者数を示したものです。平成17年度には退職者は2人(うち定年退職1人)で

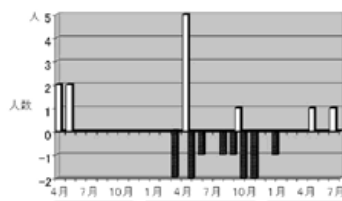


図3. 日野病院看護師の新規採用者数、退職者数の推移

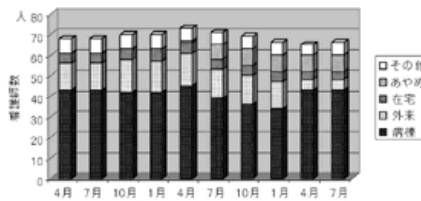


図2. 日野病院組合看護師数の推移

したが、昨年度は10人の退職者(全て中途退職者)がありました。それに対し、新規採用者は昨年5月以降3人ととどまりました。以上のように、中途退職者の増加、少ない新規採用者さらにはあやめへの配置換えが、日野病院組合、中でも日野病院看護師数の大幅な減少をもたらしています。

日野病院組合 平成19年度新規採用職員募集

日野病院組合では、次の職員(正職員)を募集しています。

職 種	採用予定日	受験資格		募集人員	勤務地	
		年齢等	条件等		日野病院 (野田 332)	介護老健施設あやめ (江府町武庫 475)
作業療法士	平成 20 年 1 月 1 日	昭和 51 年 4 月 2 日 以降に生まれた人	作業療法士免許所持者	1 人	○	○
	平成 20 年 4 月 1 日	昭和 52 年 4 月 2 日 以降に生まれた人	作業療法士免許所持者または 来春までに取得見込みの人	1 人	○	○
言語聴覚士	平成 20 年 1 月 1 日	昭和 46 年 4 月 2 日 以降に生まれた人	言語聴覚士免許所持者	1 人	○	○
メディカルソーシャルワーカー		昭和 51 年 4 月 2 日 以降に生まれた人	社会福祉士、看護師免許取得者 または実務経験者を優遇します	1 人	○	

- 採用試験 ▼日時: 10月10日(水) 午前9時～ ▼場所: 日野病院(野田 332)
▼内容: 作文試験および面接試験
- 受験申込 9月28日(金)までに、受験申込用紙を日野病院組合事務局総務課まで提出してください。
申込用紙は、日野病院事務局で受け取るか、または下記まで電話で請求してください。
- 問合せ 日野病院組合事務局総務課(電話 72 - 0351)

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1

電話：74-0212 FAX：74-0105

E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

身近な健康問題について理解を 第5回おしどり学園

8月17日、町公民館で第5回おしどり学園を開きました。

今回は食生活をテーマに、「食生活と病気について」と題して、日野保健所の大城陽子所長の講演を行いました。

大城所長は、まず結核予防の大切さを話しました。「昔に比べると、結核患者の数はずいぶん減ってきたけれども、完全に無くなっているわけではありません。鳥取県でも昨年は111人が発病、そのうち約6割が70歳以上の高齢者でした。平成11年には結核非常事態宣言が出されたこともあり、現状を訴えました。」

高齢者に結核が多いのは若いときに感染している人が多いからで、抵抗力が弱まると菌が目覚まし発病するということです。大城所長は、過去に結核に感染したことがある方の割合をみると、70歳では約6割、80歳では約7割と高齢者の割合は高くなっていると危険を訴えました。

また、「結核は良く効く薬がありますが、発病に気づかないでいると菌が薬の効かない数ほど増えてしまいます。」



スライドを使ってわかりやすく解説

また、周囲に感染する恐れもあります。結核は咳やくしゃみによって体の外に出た菌が空中を漂い、それが肺の奥まで吸い込まれ、空気感染を起こします」と、早めの受診などで結核を予防するよう話しました。

また、生活習慣病やメタボリックシンドロームといった食生活と病気についても講演しました。

最近よく耳にする「メタボリックシンドローム」ですが、腹囲が男性では85センチ以上、女性では90センチ以上の人が危険であり、肥満になる原因として、食べすぎ・早食い・まとめ食いなどの食生活に加

え、運動不足・基礎代謝の低下があると話しました。また、肥満による糖尿病とその合併症、高コレステロール、高血圧の危険性について訴え、その予防方法を話しました。最後には学園生に「これからも元気で長生きをしてください」と語りかけました。

第7回おしどり学園は 町外研修を行います

第7回おしどり学園は松江方面へ町外研修に出かけます。なお、日程を次のとおり変更してまいりますのでご確認ください。

▼日時 10月18日(木) 午前8時10分に上菅出発 予定(午後5時ごろ 帰着予定です)

▼場所 松江市 カラコロ工房周辺

▼内容 和菓子づくり体験など

▼問合せ 町公民館(電話74-0212)

▼その他 おしどり学園は途中からでも加入できます。詳しくは町公民館へ。

まちの歴史を学びました ~小学生ふるさと教室~

8月23日、町公民館を主会場に小学生ふるさと教室を開きました。今回は黒坂地区を中心に、まちの歴史を学びました。当日は町内の小学5、6年生36人が参加し、午前中は町公民館で町歴史研修会の牧智也さんから黒坂鏡山城跡について話を聞いた後、黒坂のまち中に出かけて実際に城跡を見たりしました。午後はクリーンセンターくぬぎの森で環境問題について話を聞き、泉龍寺では因幡二十士など、子どもたちの心に残る話を聞きました。当日は暑い日でしたが、子どもたちは元気に勉強していました。



鏡山城跡では今に残る石垣を見上げて

毎日の朝食で心と体を元気に
～元気の出る朝食づくり体験教室～



「おいしくできるかな？」みんないっしょに生地をこねる

8月26日、町公民館で「元気の出る朝食づくり体験教室」を開きました。
当日は5組14人の家族が参加し、明るい食生活黒坂グループ（坂出清子会長）の4人の講師から簡単でおいしいメニューを教わりました。
メニューは、「もちもちピザパン」を主食に、「鶏のさっぱり照り焼き生野菜添え」や「ちぎりキャベツとあさりのみそ汁」を作りました。また、食後のお楽しみとして「ピーチラッシー」というデザートドリンクもいただきました。

ピザパンづくりでは、パンミックスを使って生地からパンづくりを行い、野菜の切り方や並べ方を家族の人に教わり、出来上がりを楽しみにして作りあげました。子どもたちは調理室のあちこちで大きな歓声を上げ、良い体験ができたようです。
試食の時間になると、「おいしい」と言っているほとんどの子どもたちが残さず食べました。人気は鶏の照り焼きのようでした。後片付けも全員で行い、楽しい時間を過ごすことができました。

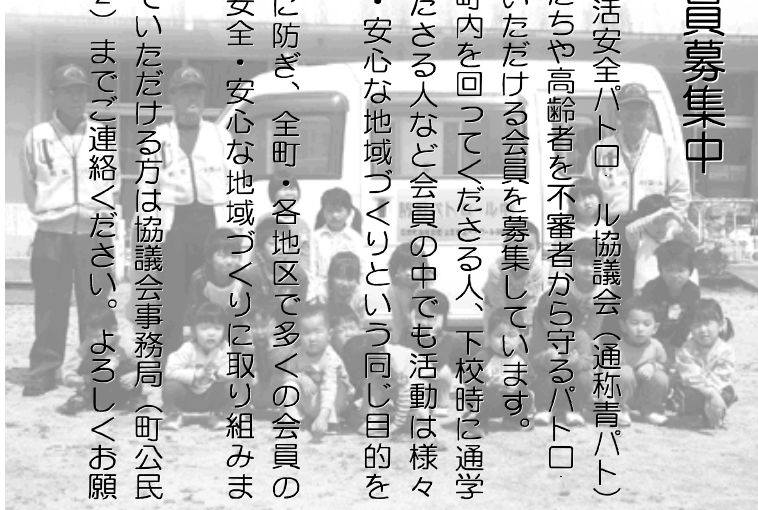
青パト会員募集中

地域防犯・生活安全パトロール協議会（通称青パト）では、子どもたちや高齢者を不審者から守るパトロールに参加していただける会員を募集しています。

車に乗って町内を回ってくださる人、下校時に通学路に立ってくださる人など会員の中でも活動は様々ですが、安全・安心な地域づくりという同じ目的を持っています。

事件を未然に防ぎ、全町・各地区で多くの会員の方々の力で、安全・安心な地域づくりに取り組みましょう。

会員になっていただける方は協議会事務局（町公民館74・0212）までご連絡ください。よろしく願います。



公民館ふれあい展示コーナーに
出展してみませんか



町公民館ではふれあい展示コーナーの出展者を募集しています。みなさんが日ごろから取り組んでおられる創作活動を発表してみませんか。
絵画、写真、書などジャンルは問いません。希望される方は、町公民館までご連絡ください。お待ちしております。

町公民館の使用手続き

公民館を使用される方は、使用する3日前までに申請書を公民館へ提出してください。

- 使用できる日：年末年始（12月29日から1月3日）を除く日
- 使用できる時間：午前8時30分から午後10時まで
- 料金：町使用料条例による額

ロビーは、午前8時30分から午後5時30分まで開放しています。図書室もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

投稿募集

町公民館では、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。教育問題、生涯学習、子育て、環境問題、スポーツに関すること、風物、趣味の紹介など、なんでも結構です。

▼字数：400字程度 ▼形態：住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、手紙またはハガキでお送りください

▼送り先 〒689-5131 黒坂1243-1 日野町公民館「公民館だより」係

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1

電話：72-1191 (FAX兼)

E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



自分だけの作品をつくる



みんなで共同作業

親子木工教室

8月19日、夏休みの作品づくりをしようと、親子木工教室を下榎隣保館で開きました。

この日は、地域の親子20人が参加し、写真立てを作りました。お母さんやおばあさんに手伝ってもらいながら、慣れない手つきで釘を打ったり、焼きペンや油性ペン、色鉛筆を使って、それぞれ好きな絵などを描いて仕上げ、夏休みの作品が出来上がりました。

▼夏休み最後の思い出に
榎の実学習会で交流会

(小学校交流会)

8月24日に奥日野交流会(日野、日南)が日南ふれあい会館で開かれ、日野上小学校、福栄小学校、根雨小学校(4、6年生)の学習会の児童20人が参加しました。

自己紹介とそれぞれの学習会での取り組みについて発表し、入沢石材に出かけ、石材工をして、入沢正治さんの指導で行いました。

下絵を描くのになかなかイメージがまとまらないうちもいましたが、周りの人からヒントを得たりして、作品づくりに熱中していました。

中には、あまりの細かい絵の作品に時間が足りず、お昼休みを返上している子どももあり、出来上がった大作にみんなから絶賛される場面もありました。

昼食のあとは、近くの日野川の浅瀬で川遊びをして、帰る頃にはすっかり意気投合、相撲ごっこをしたりして残り少ない夏休みを満喫しました。



おいしいカレーができました

(中学校交流会)

8月23日、旧日野郡地区学習会の中学生交流会が、下榎隣保館・集会所、日野中学校で開かれました。

最初に開催校の日野中学校長から歓迎のあいさつ、そして、班ごとに昼食のカレーアイスづくりと昼食会、午後は、その日、ほかの研修会のため参加できなかった川上館長からのメッセージが発表された後、下榎の歴史について勉強し、会場を中学校に移して、ゲームで親睦をふかめました。

10月の学習講座予定

10月13日(土)午後7時～
■編み物 老人憩の家(講師 安達利子さん)

10月16日(火)午後7時30分～
■生け花 下榎集会所(講師 生田清子さん)

10月17日(水)午後1時30分～
■木工 下榎隣保館(講師 柴田三千明さん)

10月27日(土)午後1時～
■リフォーム 下榎集会所(講師 足羽鈴子さん)

お気軽に参加ください。詳しくは下榎隣保館まで

参加してみませんか リフォーム講座

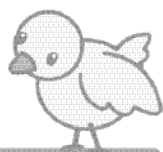
毎月第4土曜日の午後1時から行っているリフォーム講座は、ハギレを利用して袋にしたり、古くなった着物を二部式の着物に縫い直したり、要らなくなった物を再利用しようとして取り組んでいます。また、講師の足羽鈴子さんの軽快なおしゃべりで楽しく作業しています。

着物に限らず洋服なども工夫しだいで、新しく生まれかわりますよ。タンスで眠っているものがあれば、ぜひ参加してリフォームしてみませんか。

読書の秋、

図書館で楽しく過ごしましょー

としょかん
まつい



10月20日(土)~29日(月)

▼秋の図書館おはなし会スペシャル

10月20日(土) 10:00 ~ 協力: 図書館友の会
わらべうた、絵本の読みきかせ、紙芝居など(無料)
ストーリーテリング ゲスト: 里藤とも子さん(兵庫県子どもの本研究会)

▼木のおもちゃであそぼう!

10月21日(日) 9:30 ~ 12:00
①2歳~100歳まで遊べるパズル
②さかなつりをしよう! など(無料)

▼絵てがみ教室 10月25日(木)

秋の花、果物、野菜などを描こう! (材料費100円が必要) 講師: 川晋次郎さん

▼お手玉で遊ぼう! 10月28日(日) 10:00 ~

やさしい遊び方から難しい技にも挑戦!

ほかに、「パソコンなんでも相談」「お気に入りの絵本とパチリ」などもあります

- 古雑誌お持ち帰りコーナー(一人1タイトル2冊まで)
- 野外読書コーナー(中庭でコーヒーサービスします。1杯100円)



文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月~金 午前9時30分~午後6時
土・日 午前9時~午後5時

カレンダー

○印が休館日です

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

図書館の展示コーナー

青戸知恵子さんの 樹脂粘土で創る 山野草と俳句展

10月1日(月)~29日(月)

●図書館おはなし会

10月20日(土) 10:00 ~
場所: 図書館絵本コーナー

●木のおもちゃづくり

10月21日(日) 9:30 ~
場所: 図書館車庫

●サイエンスアカデミー講座

10月27日(土) 10:30 ~
場所: 図書館郷土資料コーナー

■テーマ:「地球温暖化と森林の生態系」講師: 佐野淳之氏(鳥取大学)

●町歴史研修会公開講座

9月29日(土) 13:30 ~
場所: 延暦寺

■テーマ:「生田長江の残したもの」
講師: 中田親子氏 参加無料

日本の伝統音楽
ひので雅楽を聞いっぺー!



10月28日(日)

13:30開演(13:00開場)
町文化センター・ホール森の音楽隊

曲 目

- 平調 越殿楽
- 平調 陪臚
- 高麗 越調
- 神楽 其駒
- 舞楽 蘭陵王

※楽器紹介もあります

演 奏 鳥取雅友会

入場料 大人1,000円、
中高生300円(小学生
以下無料)

主 催 ひので雅楽を

聞こう! 実行委員会

後 援 町教育委員会

問合せ 実行委員会

山川(電話72-0279)

おひさまひろば

だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、ボランティアの方の協力もあり、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

時 間	内 容
9 : 00 ~ 11 : 00	受付（随時受付けています）
9 : 00 ~	絵本読み、室内おもちゃ遊び（積木、ブロックなど）ふれあい遊び（わらべうたなど）
9 : 30 ~	一斉活動
10 : 00 ~	外遊び（雨天時：室内遊び）
10 : 40 ~	片付け・ティータイム（各自持参）
10 : 50 ~	支援室掃除、次回日程打ち合わせ
11 : 00 ~	あいさつ（終了）

青い空にトンボが飛び、虫の声も聞こえるようになりましたね。バッタやコオロギなども姿を見せ、秋を感じる頃になりました。

8月は暑い日が続き、日陰のある砂場に水を流してダムづくりをしたり、たらいでの水遊びを楽しみました。

10月は過ごしやすい季節になります。秋の風を感じながら園庭で遊んだり、散歩に出て秋を見つけましょう。帽子と飲み物は忘れずに準備してくださいね。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田

(電話 72 - 0238)

● 10月の予定

10月3日（水）：折り紙遊び

10月10日（水）：散歩

10月17日（水）：図書館からのおはなし会

10月24日（水）：都合によりお休み

10月31日（水）：外遊び

こころの散歩道
日野町俳句同好会 選

惜しみなく庭の花剪り盆支度（講師）谷 悦子
積乱雲美女に野獣に早がわり 安達つるゑ
きりぎりす鳴く昼下り屋敷畑 荒木 習子
朝顔や亡き夫偲ぶ安来節 梅林 春子
夕すげの咲く家の主しのぼるゝ 勝瀬 京子
岐阜提燈灯を入れ祖母を偲びけり 川上 文子
西日今鐘楼門を灼き焦す 久城 霞溪
孟蘭盆や遠き日懐し軒行灯 徳本千鶴子
櫓組み踊り太鼓を据へるのみ 眞壁富貴枝

（五十音順）

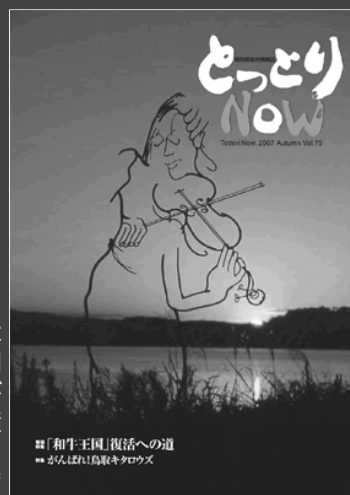
鳥取県の総合情報誌

とっとりNOW

第75号発売中！

巻頭特集「和牛王国復活への道」：2007年秋、和牛のオリンピックと言われる「第9回全国和牛能力共進会」が鳥取県で開かれます。鳥取和牛の歴史は古く、かつては毎年のように上位入賞する全国屈指の和牛県として脚光を浴びていました。しかし近年は成績不振が続く関係者は一丸となって新たな和牛改良に取り組んでおり、その動きとともに、改めて和牛の歴史を紹介します。松本勝美さん（本郷）のインタビューも掲載。▼「とっとりまちなみ散歩」では、根雨宿界わいのまちなみを、杉原幹雄さん（安原）の温かいイラストとともに紹介。

■年4回発行 ■最寄りの書店または役場総務企画課で購入できます ■1冊300円



編集後記

■和牛の取材でお会いした皆さん。和牛振興について熱い思いをそれぞれ語っていただきました■愛情たっぷりに育てられた牛たち。本当におとなしくて優しい目をしていました■全共まで1か月を切り、仕上げも最終段階に入るところだと思います。全力を出して、日野和牛の底力をぜひ全国に示してほしいですね。(i)

おくやみ
ご冥福をお祈りします
(氏名) 8月届出分 (年齢) (住所)

榎田 秀雄	谷口 すみ	三島 誠	上原 邦博	宮森 良人
92歳	96歳	63歳	78歳	45歳
金持	中菅	根雨	黒坂	根雨

届出 8月8日～9月10日 敬称略

8月31日現在

わたしの町

(前月比)

人口	4,153人 (-2)
男性	1,939人 (-2)
女性	2,214人 (-)
世帯	1,562戸 (-1)

10月 10月のカレンダー

OCTOBER (神無月)



1 月	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時
2 火	法律相談 開発センター 午後1時～ 申込み:町社会福祉協議会(74-0338)9月28日〆切 乳幼児相談 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分
3 水	不燃ごみの収集日(全町)
4 木	
5 金	人権相談 開発センター 午後1時～午後3時
6 土	全町一斉防災訓練 午前9時～
7 日	
8 月	体育の日(可燃ごみの収集は休みます) 9日に月曜日収集の地区も収集します
9 火	全町の可燃ごみを収集します 1歳6か月児・2歳児・3歳児健診 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分
10 水	行政相談 町公民館 午前9時～正午 資源ごみの収集日(全町)
11 木	
12 金	子宮がん・乳甲状腺がん検診 開発センター 受付:午後1時～午後2時(詳細は9ページ)
13 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後7時～
14 日	
15 月	
16 火	隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～
17 水	古紙の収集日(全町) 隣保館木工講座 下榎隣保館 午後1時30分～
18 木	全血献血

19 金	
20 土	生きいき“ひの”ふれあいまつり 役場前ほか 午前9時～
21 日	生きいき“ひの”ふれあいまつり 役場前ほか 午前9時～
22 月	
23 火	ポリオ予防接種 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分
24 水	発泡スチロール・蛍光管・可燃粗大ごみの 収集日(全町)
25 木	
26 金	
27 土	隣保館リフォーム講座 下榎集会所 午後1時～
28 日	
29 月	
30 火	
31 水	町県民税3期分、国民健康保険税4期分、 介護保険料4期分納期限

ミニギャラリー情報

(町内の展示コーナーを紹介します)

- 日野総合事務所
「個人情報に配慮した執務室パネル展」
10月上旬～10月末まで
- 蔵美術館
「岡野三郎油絵展『秋の大山』」
～10月末まで
- 県西部地震展示交流センター
「2007年発生 能登半島地震・新潟中越沖地震展」
「緊急地震速報スタート」
10月2日(火)～26日(金)まで

直通電話 総務企画課 72-0331 住民課 72-0333
産業振興課 72-2101 黒坂支所 74-0211
農業委員会 72-2103 教育委員会 72-2107
地域包括支援センター 72-1852 ひのっこ保育所 72-0238
役場代表番号(夜間・休日) 72-0331

出納室 72-2105 健康福祉課 72-0334
公民館 74-0212 議会事務局 72-0335
文化センター 72-1300 給食センター 72-1167
黒坂保育所 74-0225 下榎集会所 72-1191

町長の定期便

第18回

多くの人が訪れるまちへ

今年の夏は殊のほか暑かったですね。9月に入り朝晩は涼しくなってきました。いよいよ味覚の秋を迎え、楽しみです。

今、我がまちでは金持神社礼所がとても活気に満ちています。特に8月7日から発売した古紙幣入り扇子が爆発的な人気を博していて、今までのヒット商品の「黄色いハンカチ」も含めて地元特産品の売上げが順調です。

さて、10月にはオシドリも日野川へ帰ってきます。日野町も遠来のお客様でにぎやかになるでしょう。私たちはそれらのお客様を温かく迎えようではありませんか。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

さて、9月6日に上京する機会がありましたので、日野町へ多くの人たちに訪れていただきたいと、大手の旅行会社5社を訪問しました。

私は東京の地理には疎いので、県東京事務所・観光担当の岸田さんに道案内をお願いし、一日かけて回りましたが、各社とも金持神社のことは承知されていました。中には、神社に参りされた方もあり、話が弾んだところです。各社とも山陰地区への取り組みには苦労されているようで、最近の動向として個人客、グループ客が多くなっており、これらに対する商品を考えてみたいと話されていました。

帰町してから早速にお話が舞い込んでおり、ぜひ全国から多くの人々が歴史と人情豊かな自然の美しい日野町を訪れてほしいと念じているところです。

(9月7日記)

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ④

即席めんにと工夫
中華風のおかずに変身



即席めんの茶巾あんかけ

【材料】2人分

- 即席めん(しょう油味・1袋) ●卵(2個)
- 片栗粉(少々) ●油(少々)
- 具【ひじき(2g)、鶏肉(30g)、貝柱(2個)、しいたけ(2枚)、むきえび(10個)、ほうれんそう(2株)、にんじん(10g)、かぼちゃ(10g)、しめじ(10g)、塩・しょうゆ・みりん・片栗粉(少々)】
- あん【しいたけ戻し汁、片栗粉】 ●飾り【絹さや(少々)、わかめ(3g)、にんじん(1片)、針しょうが(少々)】

【作り方】

- ①溶き卵に片栗粉少々を加え溶かし、薄焼き卵を作る。
- ②具を刻んで調味料で煮、水溶き片栗粉を加える。

ゆでた即席めんと②を①で包み、器に盛る。

しいたけの戻し汁と即席めんの添付スープを合わせ、水溶き片栗粉でとろみをつけたあんを注ぎ入れる。

彩りに絹さや、わかめ、にんじん、針しょうがを飾る。



『ただ今、プロポーズ大作戦』
撮影 ●原田勲さん(京都府長岡京市)

【連絡先】

オシドリグループ事務局
森田(電話72 0271)

「もうそろそろだね。たくさん来るといいね」道行く人が声を掛けてくださいました。ボランティアとして最高の喜びです。今やオシドリは日野町の宝。故郷の誇りです。自然豊かなこのまちをいつまでも大切にしたいものです。シーズン前の環境整備も始まっています。散歩がてらお出かけください。留守番隊22羽のオシドリに会えるかもしれませんよ。

留守番隊

オシドリ
にゅるす

Vol. 115

